

Inspiring  
Change



# 戦略計画 Strategic Plan

2019-2024





世界の21億の人々が安全に管理された水道サービスにアクセスできず、45億人が衛生の尊厳を否定され、下水の80%は処理や再利用されずに生態系に戻り、約17億の人々が地下水資源や地下水に依存したエコシステムが脅威にさらされている地域に住み、水セクターは戦略を見直すべき事態に直面している。

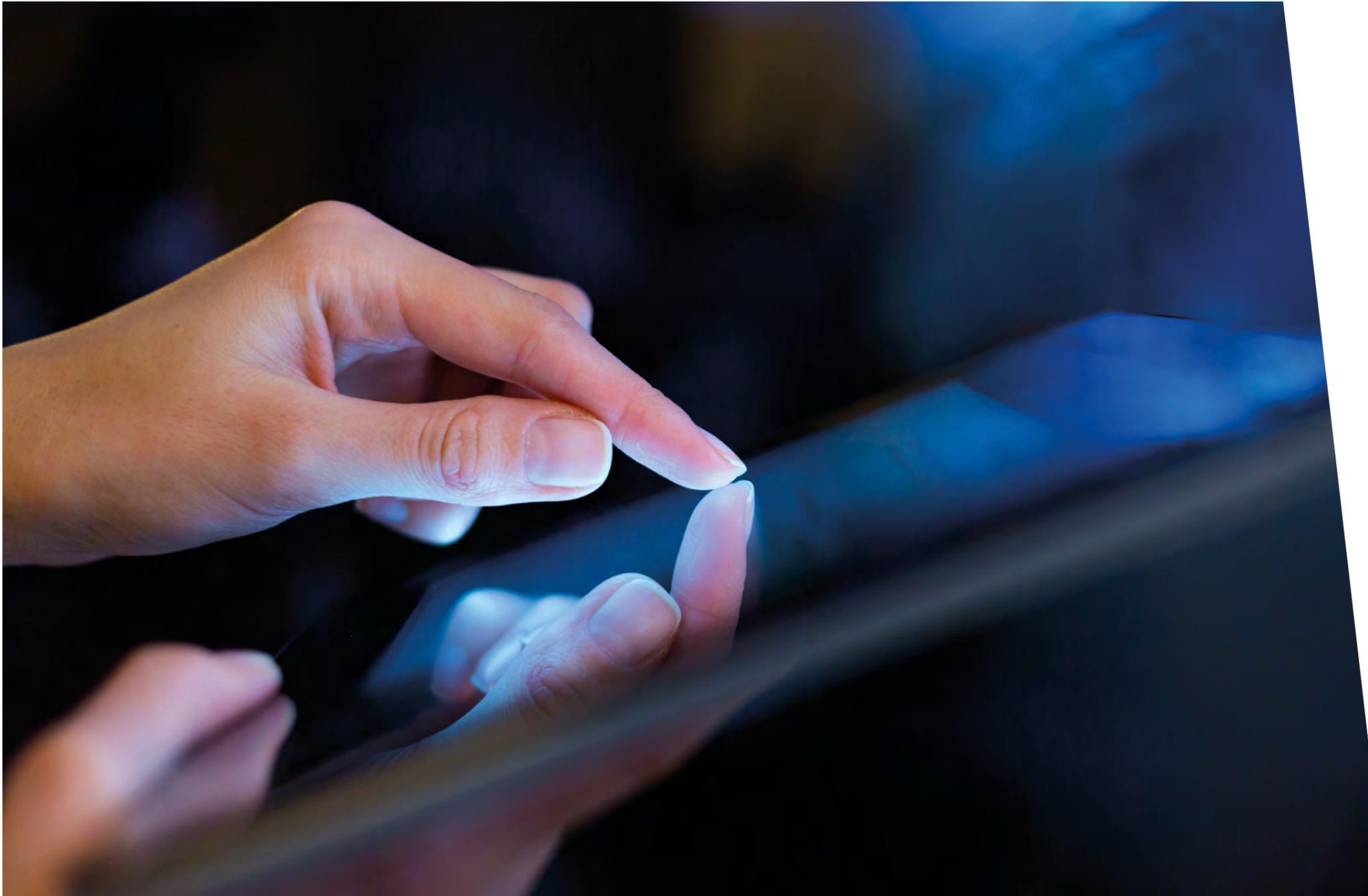
下水による汚染を憂うのか、それとも汚水から乏しい資源を回収する方法を見つけるのか。都市、産業、エネルギー、食料、自然に分配する限りある水の、増加の一途をたどる需要に圧倒されるのか、それとも、スマートシステムと適正かつ弾力的な配分のための機敏なインセンティブを開発するのか。我々は、地球規模の変化によってもたらされる増大するプレッシャーに怯えることもできれば、前例のない好機すなわち水専門家にとっての「黄金期の夜明け」としてそれを受け入れることもできるのだ。

現在、人類の半数以上が都市で暮らしている。それゆえ、長引く干ばつ、大雨による鉄砲水、海面上昇、そして温暖化にどのように立ち向かうかにおいて、都市が世界的な焦点となる。よって、十分ではなく信頼性の乏しい水資源で、より多くの人々を管理しなければならない都市において、**国際水協会（IWA）は革新的なソリューションをばぐみ、触媒し、もたらすために歩みだす。**しかしながら、イノベーションは部内者からのみでは起こらない。多くの場合、水と衛生のソリューションは、セクターを超えたところから見つかるため、部外者を歓迎すべきなのだ。

現在そして将来直面する複雑な水管理問題は、限られたアプローチの域を越えて、セクター間の成果を結びつけ、政治分野において意識と緊張性を高めながら、孤立した組織間に幅広い制度的な架け橋を構築することを要求する。さらに、我々は研究から得られた最先端の科学の躍進、技術開発及びクリエイティブな考え方を、現場での最良の水管理に結びつけなければならない。水セクターは、革新的な技術や思考を恐れることなく早期に速い速度で採用することで、イノベーションを実験、証明し、恩恵をもたらすべきである。

#### 参考文献

- 1 WHO-UNICEF JMP 2017.
- 2 WHO-UNICEF JMP 2017.
- 3 World Water Development Report, UNESCO, 2017
- 4 Water balance of global aquifers revealed by groundwater footprint, Gleeson et al, 2012, Nature.



# 新しい戦略方針

## A New Strategic Direction

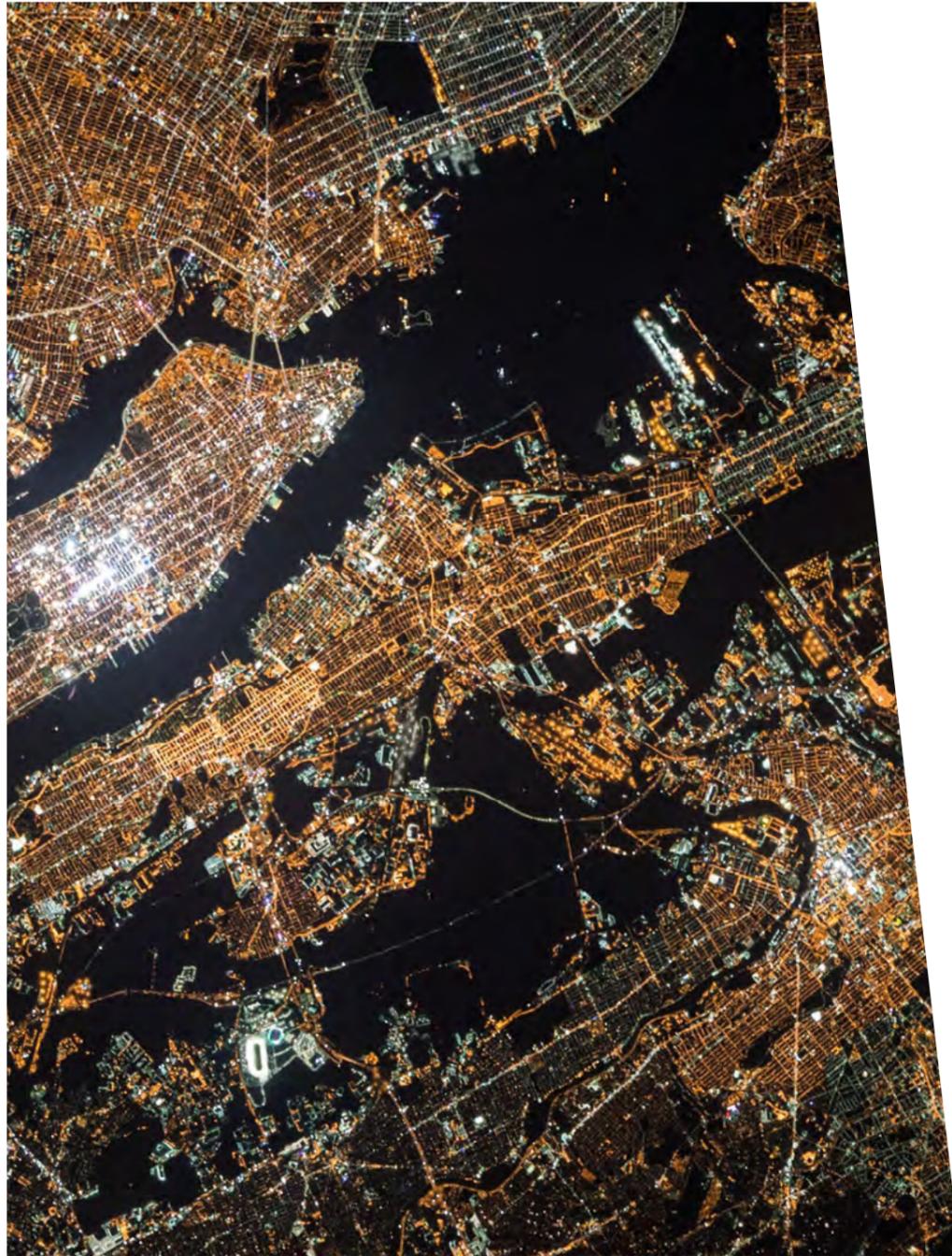
変革が、何も無いところに自ずと生じることはない。むしろ、これらの課題を解決するアイデアは、IWAの関係機関や会員の間で扇動され、厳密に議論されることだろう。IWAは、新しいテクノロジーやアプローチの革新者と採用者の双方が創造的な摩擦を引き起こす、オープンでありながら秩序あるプラットフォームを提供する。それは拡散、ベンチマークそして証明の場となるだろう。より多くの人々が、ますます気が滅入るような水不足と水ストレスに逼迫される、渇いた未来を目の当たりにするにつれて、IWAはかつてないほど今日の問題と直結し、**革新的なソリューションを提供する模範的なオアシス**として発展するだろう。我々は、世界中の最善の実証と成果を共有しながら、最も有望な開発と最適解を結びつけていく。さらに、言語、年齢、性別の多様性を助長、促進しながら、会員が積極的に関与する広範なコミュニティを探求する。

この戦略は、前IWA戦略計画2014-2018を踏まえ、さらに内容を積み上げたものである。承認が必要となるIWAメンバー（役員会、戦略評議会、スペシャリストグループ、若手水専門家、理事会員）と多数の協議を重ね統合したものであり、全体運用計画の作成によって補完される。これらすべてのプロセスは、**組織全体のインスピレーション、知識並びに活動の発信元**となる「会員」により重点を置くことが、IWAにとってどれほど重要かを明らかにした。

IWAは会員のために、以下を通じて、サービス文化の強化、そしてユニークな価値提案を成し遂げる。

- 専門家育成プログラム
- IWA内外でのリーダーシップ育成
- 会員としての誇りを生み出すアジェンダ設定のプログラム作業
- 会員が人やアイデアとつながるグローバルネットワーキングの機会





# 急速に変化する世界は発展と適応のためにIWAを必要とする

## A Rapidly Changing World Requires the IWA to Evolve and Adapt.

すべての水専門家は、気候変動への適応応答（次の強い刺激に備える力）を高めなければならない。激しい頻度と厳しさで、極度の干ばつと洪水に遮られる過酷な水不足の現実、循環型経済の切り開き方を模索しながら水セクターをイノベーションの最前線へと押し出す。急激な変化は、しばしば我々を安全地帯の外に押しやる。経験豊かな水文学者は顧客サービスの勉強を強いられ、一人前の化学者は経済を学ぶ。そしてまた、膜の専門家は人権についての文献を読む。事業体は、水を得るだけでなく、新しいエネルギー資源、鉱物、金属、バイオプラスチック、肥料の回収、販売方法さえ知る下水の資源採掘者になる。物質界の資源のやり取りに関わる人は、その行為を中断し、水セクターを真により良い形に再構築するため、「デジタルウォーター」の夜明け、すなわちこれらのウェブ、モバイル及びクラウドを基盤としたソリューションがもたらす可能性に覚悟を決めなければならない。

水自体は、地域特有の課題を抱える土地とは切り離せない資源であり得る。しかし、水関連のアイデアやイノベーション、IWAのような機関は常に境界を超越して流れる。確立された経済では、いっそう厳しい規制が現行の慣習の境界を押しやる一方で、それらは過渡期の経済の中で急速な発展を具体化することを助け、アフリカ、アジア、東ヨーロッパ、ラテンアメリカが古い

水システムの遺産を「飛び越す」ことを可能にする。水管理における最も重大な変革のいくつかはまだイメージされておらず、まして検証や開発はされていない。IWAは、明確なビジョンによって団結した幅広い会員を通して、これらのイノベーションの誕生後、一定の規模に達し、繰り返され、そして採用されることを促進する。それによって、人類が依存する自然環境を保全しながら、すべての人々が健康のために水と衛生施設への公平なアクセスを享受することを保証する。

一般的に持続可能な開発目標（SDGs）、とりわけSDG6は、低所得国、中所得国、高所得国を問わずすべての国の水問題に平等に取り組むという、これまでにない政治的意思を与える。開発途上国では人口増加と急激な都市化により、水と衛生サービスの需要がこれまでの限界値を超え増大している。その一方で、高所得国では水問題のガバナンス、認識、予測を向上させている。

しかし、SDGsを達成するにあたっては、数多くの課題が立ちはだかる。SDGの資金不足を穴埋めするさらなる財源を明確にし、集約する必要がある。そのために重要なのは、事業体の信用度を改善することである。適切な政策、制度的取り決め、規制の枠組みといった環境を整えることで、事業体に改善されたサービスと信頼性につながる業務及び経営効率向上を図るきっかけが与えられる。

第二の危機/機会は、人材、またはその欠如によって生じる。水と、特に衛生分野は、あらゆるレベルの教育と訓練の不足により行き詰っており、前途のSDGのタスクを進める能力と潜在的な可能性を損なっている。IWAは、計画的により多くの、そして若い専門家を育成することで、人材資源能力格差の隙間を埋める支援を続けていく。そうして初めて、SDGsを達成するために必要とされる膨大な数の水専門家を確保できる。

緩やかで漸進的な向上の先に、水のSDGは包括的なガバナンス、強い政治的意思及び多様なリーダーシップに基づく迅速に変換可能な新しいアプローチを必要とする。そのようにして、都市やコミュニティにおいて、単なる最終目標としてだけでなく、不均衡を縮小する手段として、水と衛生サービスへの持続可能なアクセスをすべての人々に永久に保証できる。

長年の懸念に新事業を導入し、イノベーションを促進並びに拡散するために枠組みを超えて協力することで、また実績を積んだアプローチを局所条件に適応させることで、IWAは我々のグラスが半分も満たされていることを世界に示す。されど、グラスは半分空でもある。楽観的にも悲観的にも捉えられるのだ。それよりもむしろ、IWAは対立を協調に、乏しさを豊かさに変換するよう人々に力を与え、人間と自然双方の共同体に利益をもたらす方法でグラスを水で満たすことを約束する。





# 簡潔な自己紹介

## Elevator Pitch

国際水協会（IWA）は、その会員である130か国から集められた非常に優れた専門家、科学者、研究者、技術系企業及び上下水道事業体を寄せ集め、山から海まで、そして水源から蛇口までの間で生じる世界の喫緊の水の課題に、時間と場所を選ばず取り組んでいる。

誰一人として、また単独の技術を以ても、このような複雑な水問題を孤立して対処することはできない。それが、IWAが組織的アプローチをとる理由だ。現に、IWAは70年以上にわたって、**研究と実践、企業と政府、ハードウェアと人間を結びつけながら国際的な水目標を掲げてきた。**水道水の適正価格を見つけるか、下水中のDNAを解読するか、逆浸透の限界に挑むかにかかわらず、IWAの会員は世界中のイノベーションを触媒し、世界中のベストプラクティスを向上させる。IWAは、多様な地理、気候、社会文化的背景にわたって複製可能な研究成果を実績し、実用的な知識を共有することで、漸進的な成果を加速させる。IWAは、普遍的に当てはまり、アクセスしやすく、地域に適合する、強靱で適応性のある永続的な水ソリューション、製品及びサービスの国際的な参照かつ情報源となっている。



# ビジョンとミッ ション

## Vision & Mission

### ビジョン:

賢明で持続可能かつ公平な水管理に励む専門家のネットワーク

### ミッション:

以下による、国際的な水コミュニティへ向けた知識の促進及びアジェンダ設定を導くリーダーシップの提供

- セクター、外部組織、オピニオン・リーダーにとってイノベーション、知識、ベストプラクティス共有の触媒となること
- 地球規模の変化の圧力を物ともせず、強靱で適応性のある持続可能な水ソリューションへと移行行く中で、経験とリーダーシップを提供すること
- 地球規模の変化の圧力を物ともせず、強靱で適応性のある持続可能な水ソリューションの国際的な参照、知識の源になること
- 水関連のSDGsの野心を追求する地球規模のコミュニティを支援すること

# IWA 5カ 年計画

IWA in 5-Years Time



## 積極的かつバランスの取れた会員構成

IWAは、水セクターの複数の区分、当事者、業務領域を国際的に代表する会員を持つ最先端の水知識の源泉

## 最先端の水情報の源泉

IWAは、水知識の信頼できる情報源及び世界的な基準点としての立場を強化し、セクターそしてより広い世界において、新興の、そして潜在的に革新的な傾向に対処し、情報を提供する。

## 水に関する知識共有の場の提供

IWAは、今日の課題に直結し、世界の水セクターに大いに評価される、幅広い専門的なコンテンツとプログラミングを提供する。

## 研究と実践の橋渡し

IWAは、地球規模の水セクターにおけるイノベーションの展開と拡散を加速させるために、研究と実践の間の隔たりを橋渡しする、極めて重要な役割を果たす。

## SDGS達成の支援

IWAは、持続可能な開発目標を支持・促進し、専門家や能力開発を通して水セクターを強化することで、人々、そして国々が水に関するSDGsに関連する野心を追求することを可能にする。



# 重要な目的と戦略目標

## Critical Objectives & Strategic Goals

### 魅力的かつバランスのとれた会員構成

- 会員の関与を重視することで、IWAの戦略活動に積極的に参加する会員の絶対数を増やす。会員のニーズや期待により応える顧客志向のサービス文化を通して、個々の会員に合わせたサービスの展開や関与の機会を創出する。
- 地域や関心に関連する会員サービスと機会を提案することで、アジア、アフリカ、中南米を含む、代表者の少ない地域からのIWA会員を増やす。
- 安定して会員を確保しているアジア太平洋、ヨーロッパ、北米を含む地域では、ネットワーキングや情報交換活動に付加価値を与えることによって、会員の体験を充実させる。
- 若手水専門家の会員数を増やし、的を絞り適切に計画された専門的かつ個々の野心を実現できる機会を展開する。
- IWAの会員資格を、水セクターに影響を与えている、セクター内外のさらなるステークホルダーにまで広げる。非営利組織、金融機関、デジタル技術企業といった人を引きつける集まりは、IWAの課題を、水の未来に関心を持つ幅広い専門家の集団に対して拡大するだろう。

### 最先端の水情報の源泉

- 将来の傾向、課題及び機会が意味することについて、国際的な、地球規模の水コミュニティに働きかけ、情報を提供する。機関紙、書籍、雑誌、報道を含むさまざまな方法を通じて、地球規模の変化のひしめきに適応する必要性に気づかせる。
- 地球規模の変化に取り組む革新を促進し、その圧力から生じる不確実性に対処可能な、強靱で適応性があり、持続可能なソリューションや戦略を展開する。
- SDG6の資金格差に対処するための新しい事業モデルと資金調達モデルの展開に加え、政策改革、制度上の取り決め及び規制に対する総合的なアプローチを組み合わせ、

事業体の業務及び経営効率を向上させる。

- 水が段階的に利用、回収、再利用され、エネルギーと栄養が抽出される閉鎖循環システムによって、循環型経済適用へのシステムアプローチを奨励し、水セクターによる地球変動に伴う脅威の管理を可能にする。
- 国際的な水セクターを再構築する可能性を秘め、様々な影響を与えながら成長するデジタル水経済の信頼できる情報源及び世界的な参照となる。

### 水に関する知識共有の場の提供

- 会員やセクター代表をIWAのコンテンツ、イベント、プログラム開発に積極的に巻き込み、費用対効果が高く効率的な方法で、代表者の少ない地域からの参加を最大化するための新技術を取り入れる。
- IWA会員及びその他の水専門家が情報を公開し、共有するためのさまざまな機会を提供する。
- 先進国と開発途上国の双方からの会員の専門知識を結集し、地域の実情に根差し調整された、新興経済の水セクターのニーズを満たす革新的なソリューションと専門的コンテンツを生み出す。

### 研究と実践の橋渡し

- 大学、研究機関、事業体及び産業界からの多様なステークホルダーを寄せ集め、水セクターにおけるイノベーションと変化を促進するシステムアプローチを推進するプログラムを開発する。
- 水セクターにおける技術革新を取り込むスピードとその可能性の向上を目的に、新技術やサービスの発明、開発、普及に向けた研究を促進するプラットフォームを提供する。
- 事業体が、経験を共有し、新たな問題に気づいて学び、変化に適応しそれを受け入れるための、的を絞ったプラットフォームを提供する。

ームを提供する。

- IWAネットワークの系統的理解をより深め拡散モデルを適用することで、水セクターにおけるイノベーションの取り込みを加速させるにあたってより望ましいネットワークの配置を究明する。

### SDGs達成の支援

- IWA会員との協力や理事会員との具体的な活動を通して、国際的な水セクターが持続可能な開発を達成する方法に精力を傾注するよう奨励し、IWAによってもたらされる幅広い価値を理解し伝えるのに役立つプラットフォームを提供する。
- 投資の格差や人材能力差の補完に優先的に取り組むことを含め、SDGsを達成するために求められる課題設定を支援し、推し進める。
- IWAの活動を通じて、IWA会員やステークホルダーがSDG6を達成するための能力と生産性の向上を支援する。



# 本戦略の運用

## Operationalising this Strategy

会員のために機能する協会を創設しそのビジョンとミッションを達成するために、IWAは**すべての活動において、会員の関与を重視する**。この戦略を実行するために運用計画（必要に応じて期限を設定）が作成される。

我々は、データとものさしを賢く利用することによって会員の関与を最大限に引き出す。IWAの地域活動に含まれる会員データの収集、追跡及び分析（適切な個人情報保護方針に基づく）によって、**会員区分をより適切に把握し、より個人に合わせた価値提案をすることができる**。また、データは最良の会員維持戦略と顧客サービス文化を見極める手助けとなる。

IWAのすべての活動の心臓部に会員の関与を位置づけることは、組織の発想の転換と事務局構造の再構成の両方を意味する。結果として、会員に付加価値をもたらすことに一層重点を置き、時間配分を増やすだけでなく、**会員が支持する目標を掲げ、グローバルな展望を打ち出すことで、IWAを思想的指導者と捉えたい会員の意欲的な願望を後押しすることになる**。

会員の期待とニーズのプリズムを通してみると、IWAは、強力なデータ分析と環境の整った最適構造に支えられ、よりダイナミックな協会となり、さらに国際的な基盤と世界レベルの名声を築くだろう。



**Inspiring  
Change**

IWA Head Office | Alliance House, 12 Caxton Street, London SW1H 0QS, UK | Company registered in England No. 3597005 | Registered Charity (England) No. 1076690



[iwa-network.org](http://iwa-network.org)